

平成 2 6 年 第 1 回

印西市教育委員会臨時会会議録

平成 2 6 年 4 月 2 2 日 (火)

平成26年第1回印西市教育委員会臨時会会議録

日時：4月22日(火)午後1時30分

場所：印西市役所4階41会議室

1. 開 会
2. 開 議
3. 議事日程の報告

(議事日程)

日程第 1 委員長が指名する会議録署名委員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 諸般の報告

(1) 教職員の事故に関する経過報告について

4. 閉 議
5. 閉 会

出席委員(5名)

1	番	委 員	大 野 忠 寄
2	番	委 員	青 山 光 男
3	番	委 員	寺 田 充 良
4	番	委員長	佐 藤 めぐみ
5	番	教育長	大 木 弘

欠席委員(なし)

説明のため出席した職員(3名)

教 育 部 長 高 島 一 郎

学 務 課 長 井 上 愛 一 郎

指 導 課 長 内 田 圭 子

職務のため出席した職員(3名)

教 育 総 務 課 鈴 木 悦 子
総 務 班 主 幹

教 育 総 務 課 高 木 恵 美 子
総 務 班 主 査

教 育 総 務 課 安 西 浩 紀
総 務 班 主 査

(13時31分)

(開会の宣告)

佐藤委員長

ただいまから平成26年第1回印西市教育委員会臨時会を開会いたします

す。

(開議の宣告)
佐藤委員長
(議事日程の報告)
佐藤委員長

(会議録署名委員の指名)
佐藤委員長

(会期の決定)
佐藤委員長

(教育長報告)
佐藤委員長

教 育 長

佐藤委員長
学 務 課 長

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程については、お手元にお配りしたとおりです。ご了承願います。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。
本日の会議録署名委員は、会議規則第31条の規定により、3番寺田委員を指名いたします。

日程第2 会期の決定を行います。
本臨時会の会期は、会議規則第4条の規定により、本日1日とします。

日程第3 諸般の報告を行います。
大木教育長より発言の申し出がございますので、これを許します。
大木教育長。
それでは、平成26年第1回印西市教育委員会臨時会開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。
4月18日土曜日の夜に発生いたしました印旛中、XXXXXXXXXX教頭による酒気帯び運転による自動車事故につきまして、委員の皆様には大変ご迷惑、またご心配をおかけいたしましたことを、まずおわびいたします。大変申しわけありませんでした。
既に報道もされておりますが、事故の状況と学校への指導の状況、また、今後の再発防止策等につきまして、協議をさせていただきたいと考え、開催していただくことになりました。どうぞよろしく願いいたします。
以上でございます。
学務課長。
それでは、私のほうから別添資料を用意させていただきましたので、この資料をもとに事故の内容、事故への対応、それから、再発防止に向けての取り組みの3点について説明をさせていただきます。
初めに、事故の概要につきましては、1ページをご覧ください。これは4月19日、教育委員会にマスコミからの取材の申し込みがあり、その際に使用をした資料でございます。
事故の概略につきましては、先ほど教育長からもありましたように、平成26年4月18日金曜日、午後10時5分ころ、印西市若萩4丁目の市道で印旛中学校XXXXXXXXXX教頭が酒気帯びの状態で自家用車を運転、中央分離帯を乗り越えて、対向車線を逆走し、乗用車3台と衝突をしたというものでございます。

当日、■■■■教頭は市内の飲食店で行われたPTA歓送迎会に自家用車で向かい、会の終了後、その車を運転して事故を起こしたものでございます。事故の通報を受けた警察により、■■■■教頭から基準値を上回るアルコールが検出されたため、現行犯逮捕となったものでございます。現在、■■■■教頭でございますが、印西警察署に拘留中となっております。

次に、事故の対応についてご説明申し上げます。資料2ページをご覧ください。事故の翌日から事故への対応が始まりました。

4月19日土曜日、午前中に印旛中学校の校長と今後の対応について協議をいたしました。午後、教育委員会はマスコミへの対応、印旛中学校は職員及びPTA役員に事故の概要と今後の対応について説明をしております。

4月20日日曜日、午後から臨時の校長会議を開催いたしました。内容につきましては、後ほど説明をさせていただきます。

4月21日月曜日、印旛中学校では、午前8時10分から全校集会、午後7時30分から臨時保護者会を開催し、事故の概要説明と事故に対する謝罪を行ったところでございます。全校集会では、子どもたちは真剣な面持ちで校長の話聞いていたと報告を受けております。臨時保護者会につきましては、さまざまな意見が出されました。一つは、事故の概要をもう少し詳しく教えてもらいたいと。それから、2点目は子どもの心のケアをしてもらいたい。それから、3点目は再発防止のための具体的な対策を立ててほしい等の意見が出されておりました。なお、この両集會も教育委員会から職員を派遣し、状況の確認、また、対応への協力をしてきたところでございます。

続いて4月22日、本日ですけれども、教育委員会臨時会を開きまして、教育委員の皆様はこの事故について説明をさせていただいておるところでございます。

それから、明日になりますが、教育委員会から、保護者宛ての謝罪文の配布、この保護者宛てというのは、印西市内の小・中学校の保護者全てに対してという意味です。それから、市のホームページへの謝罪文の掲載というような対応をしてまいりたいと考えております。それから、学校につきましても同様にホームページへの謝罪文の掲載を予定しております。

保護者宛ての謝罪文、ホームページへの掲載文の内容につきましては、次のページをご覧ください。3ページが保護者宛ての謝罪文、それから、その次のページがホームページに掲載する予定の文章となっております。お読みいただきまして、ご意見をちょうだいできればというふうに考えております。

最後に3番の再発防止に向けての取り組みについてご説明申し上げます。一番頭のところなんですけれども、一番最初のページでございます。3点でございます。臨時校長会議の開催、それから、教育長緊急アピ

ールの発行、それから3点目につきましては、リーフレットの作成、この3点目のリーフレットの作成については今後の対応ということになっております。初めに臨時校長会議の開催につきましては、5ページをご覧ください。この臨時の校長会議では、各学校の校長に3点指示をいたしました。1点目は各学校で臨時の職員会議を開催するという事。2点目は、各学校で緊急のモラルアップ委員会を開催する。3点目は、緊急の研修会を開催すると、実施をするという3点を指示いたしました。特にモラルアップ委員会と研修会につきましては、教育委員会から与えられた研修をするのではなくて、先生方の考えや意見を取り込んで、実効性のある研修会にしてもらいたいということで話をさせていただきました。

なお、この研修会のポイントとして、3点、こういう点に気をつけてやってもらいたいということで話をさせていただきました。この四角の中に囲まれている部分なんですけれども、職員一人一人の自覚を高めるということ、それから2点目につきましては、組織として不祥事とめると。つまり、人間一人一人、弱い部分がありますので、学校の組織として、その同僚が行うかもしれないその不祥事を学校全体とめるとはできないのかと、そのためにはどうしたらいいのかということを考えてもらいたいというようなこと、それから、3点目は参加型の研修会を実施するんだということで指示をさせていただきました。

なお、この各学校の研修内容につきましては報告を教育委員会へ上げてもらい、その内容をもとに教育委員会にて不祥事根絶のためのリーフレットを作成したいと考えております。

以上でございます。ご意見、ご質問、ご指導をよろしくお願いいたします。

佐藤委員長

ただいまの報告について、質疑はありませんか。

大野委員。

大野委員

印旛中学校以外では、各学校での校長先生からこの事実概要を伝えておくことと、それから、各学校での対応はどのような形でされていたのか、それから、今後の対応について、モラルアップ委員会ということで、各学校の中で、もしくはそういう方が、代表者が集まって、機会を設けるといようなことなんですけれども、専門の外部講師を呼んで、知識をいただくとか、そういうことはされないのかどうかです。そこら辺の点も含めて、お聞かせください。

佐藤委員長

学務課長。

学務課長

まず初めに、各学校の不祥事根絶に向けた取り組みということなんですけれども、毎月校長会議、教頭会議等がありまして、教育委員会からの指示事項ということで、不祥事根絶については最重要項目ということで、毎月指示、指導はさせていただきました。各学校でも、それに基づいて指導をしております。また、県教委のほうからもいろいろな指示事

項がございまして、それに基づいて、例えば4月とか7月がモラールアップの強化月間となっておりますので、そこで研修会を開いたりしています。また、いろいろな不祥事に関する新聞報道等がありますので、その新聞報道をもとに校長あるいは教頭から、このような不祥事があるということで、各学校の先生方に指導をしてきているところでございます。

それから、外部講師を呼んで研修会を行っては、とのことにつきましては、一昨年、県教委から不祥事根絶のための8策というものが出まして、そのうちの一つが外部講師を呼んでの研修会を必ず年に1回各学校で開くというような状況になっております。印西市教育委員会の指導主事へも派遣要請が来たり、また、各学校でいろいろな方を呼んで、研修会を行っているというような状況でございます。

以上です。

大野委員
佐藤委員長

わかりました。ありがとうございます。

ほかに質問はありませんか。

寺田委員。

寺田委員

教育長に伺いますが、この事故の前には校長会、教頭会において、こういうことがあるとしようがないということで、一応、警告というか訓示みたいなことをなされたのかどうか、また、この日に最高責任者の校長が最後までいたかどうかという経過だけは教えてほしいのですが。

佐藤委員長
教育長

教育長。

4月18日にその事故が起こったわけでございますが、その前に、4月10日には校長会議、市の校長会義、そして前日になりますが、4月17日に市の教頭会議がございまして、先ほど学務課長からありましたように、毎回教頭会議、校長会議の中で、教職員による不祥事の根絶ということについては指導しているところでございます。そういった指導が17日にあつて、18日の事故ということでございますので、そのことについては、こちらとしても、教育委員会としても重要と考えなければいけないというふうに思っております。

それと、当日の校長ですが、実は校長もことし成田から転入してきた新任の校長でございまして、同日、成田の前任校でPTAによる歓送迎会がございました。それで、当日は夕方午後6時からPTAの歓送迎会の会議があつたわけですが、45分間、印旛中のPTAによる歓送迎会に出席をして、アルコールは飲まずに、その後、成田の前任校の歓送迎会に向かったということでございますので、印旛中のPTAの歓送迎会には最後まではいなかったということでございます。

以上でございます。

佐藤委員長

ほかに質問はありますか。

青山委員。

青山委員

質問ではないのですが、資料には事故に対するこれまでの対応について書かれていますけれども、私は非常に適切な対応をされているという

ふうに思います。ちょっと言い方が変ですけども、本当に今回の事故の一番の大きな痛手は、やはり教育に対する信頼を大きく損ねてしまったというところなんですよね。やはり先生方の研修の一番最初に自覚を高めるところが出されていますけれども、本当に取り返すには相当な時間がかかるだろうし、何よりも子どもたち、保護者、特に印旛中学校の子どもたち、保護者にとっては、大変な心の整理をつける時間も相当かかるでしょうし、教育というのは信頼関係によって成り立っていますので、その先生がそういうことを犯してしまったと。しかも教頭先生がそういうことをしてしまったということは、非常に大きな痛手です。ですから、まさにここに書かれているそのとおりの大きな痛手なわけですけども、やはりそのことを先生方にも重々生かしてもらおうということが一番大事なことではないかなと。本当にほかの職業とちょっと違うんですよね、教員は。やはりほかの人の模範にならなければいけない立場なので、本当にもうこれは、これをいい形で先生方の自覚を高めることにつなげていただきたいと。そうでないと、今までの苦労がみんな水の泡になってしまうので、本当に苦労して、そういう信頼を勝ち得てきているわけですから、本当にそのことは、もう骨の髄まで理解してもらわないと困るということですよ。

それと、一番の対策というのは、先生方の研修とか、そういうことももちろんですけども、何よりも子どもたち、特に印旛中学校の子どもたち、保護者の信頼を勝ち得るためには、やはり教育の活動を通して信頼を勝ち得るしかないの、特に印旛中の先生方にとっては、大きなハンデを背負った上での教育活動になると思うんですね。なかなかスタートの時点でこういう形で起きてしまいましたので、本当につらいだろうと思うんですけども、そういう意味では教育委員会のほうにも、特に校長先生が新任でいらっしゃるということ、それから、教頭が欠けると、恐らくそう簡単には補充は来ないのしょうから、特に教科の面でも授業がスタートしていますので、それを学校の中の職員だけでまかなっていく。しかも、こういう事故の対応も、学校の中の職員で全部やらなければいけないというふうなことになる、そういう大きな信頼を損なっている中で、またいろいろな不信感が渦巻いている中での教育になると。しかも、その教育業務が非常に大変な新年度スタートの時期、しかも子どもたちと初めて出会って、これから授業をスタートしていく、また、そういう信頼関係を培っていく、形づくっていかねばいけないときに、自習時間が多くなったりとか、また、先生がほかのことに忙殺されてしまうというようなことでは、やはり本当の、一番確実に信頼関係を勝ち得ていくのが、授業の中での、子どもたちと先生方の教育活動で培えるものですから、そここのところで教育委員会も、皆さんも忙しいと思うんですけども、しっかり学校をサポートしていただくと。そして、そういう教育活動がしっかりできるような環境づくりをぜひ行っ

ていただきたいと。そういうことが保護者にとっても、または校長先生にとっても、そういう形で穴をあけることはないよと、授業をしっかりやっけていこうと、そういう意味でも教育委員会からも、こういうふうな形で、いろいろな形で手厚いバックアップをされているよというふうなことが言えるようにしていただきたい。それがやはり一番の確実な信頼回復のまず第一歩じゃないかなというふうに思いますね。ぜひそれはお願いしたいなというふうに思います。

以上です。

佐藤委員長

ほかに質問はありませんか。

寺田委員。

寺田委員

今回の[REDACTED]本人が一番いけない行為をしてしまったということですが、非常に教頭先生というのは雑務が多いらしくて、厳しい立場だったらしいというお話を聞いているんですが、今回、拘留期間は何日ぐらいになる予定なんですか。まだ警察のほうからその話は、聞いていますか。

佐藤委員長

学務課長。

学務課長

一般的には10日という話です。4月20日の日に警察に行っておりますので、そこから10日間だと思っています。これははっきりは聞いておりません。校長のほうからもいつまで拘留期間だという日にちについてはまだ聞いておりません。

佐藤委員長

寺田委員。

寺田委員

拘留期間、解き放たれたら一度教育委員のほうにも直接本人とお話する予定はあるんですか。

佐藤委員長

学務課長。

学務課長

拘留期間中に校長には、拘留期間中に1日1件15分の接見が可能になっています。それで、今、奥様が接見をしているということですが、奥様とよく相談をしていただいて、やはり学校の管理者として、なぜこういうことになったのかということについては、きちんと把握する必要がありますので、校長には、奥様とよく相談をして、拘留期間中に接見できるように話をしてくれと、くださいということをお話させていただいております。

佐藤委員長

寺田委員。

寺田委員

雑務で忙しいとか、いろいろなことがあったにしても、とにかく本人が飲んで、車に乗ったということは、それ自体が悪いんですから、しようがないと思うんですけれども、本人と会って、いろいろな内容も確かめてもらって、今後の資料に、何らかの資料にしてもらいたいと思います。よろしく願いいたします。

佐藤委員長

ほかに質問はありませんか。

では、私から一点申し上げます。教育委員会より、強く指導していただいていたことではありますが、今回、このような大変な事故となつて

しまつてとても残念です。新聞のほうにはお一人、軽傷をというふうな記載がございますけれども、今現在わかる範囲で、3台ということですが、その被害に遭われてしまった方々、それから、ご夫婦にもおけがなかったか、どのような実態なのか、教えていただけますでしょうか。

学務課長。

学務課長

先ほど申しましたけれども、まだ校長も接見をできていないという状況で、本人からまだ一切情報を仕入れることができていない状況ですので、新聞、我々の知っている情報というのは、この新聞報道された範囲以上のことは知り得ていないというような状況が現在です。

佐藤委員長

ありがとうございます。ご迷惑をおかけしてしまい、被害に遭われた方が一日も早くご回復できますよう、お祈りしたいと思います。

休日であるにもかかわらず、教育委員会の皆様には、早朝から夜中、本当に遅くまで、迅速に、かつ細やかに対応してくださり、ありがとうございました。また、教育長からの便りに今現在このような対応をしている途中であると、細やかにご報告をいただきました。ありがとうございます。私たちはもとより、信頼回復に向け、教育委員会の皆様、そして先生方と一層気を引き締め取り組んでまいりたいと思います。

これで日程第3 諸般の報告を終わります。

(閉議の宣告)

佐藤委員長

以上で本日の日程は全て終了いたしました。会議を閉じます。

(閉会の宣告)

佐藤委員長

これで平成26年度第1回印西市教育委員会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでございます。

(13時59分)

印西市教育委員会会議規則第31条の規定により、上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためここに署名する。

平成26年4月22日

委 員 長 佐 藤 め ぐ み

署 名 委 員 寺 田 充 良